

### 出題意図

本文は、身近な職業としての教師を題材とし、「専門家としての教師」とはどのような特徴や性格を有しているのかを論じたものである。専門家としての教師を考察するというアプローチはやや見慣れないものかもしれないが、内容は平易な用語と表現で構成されており、筆者の主張・論旨も明快なものとなっている。考察対象として教師の仕事の専門職性や内実を客観視しながら文の内容を理解することが求められる。設問は、基本的な語彙力を問うとともに、文意・文脈あるいは文の構造を適切に把握できているか、さらには筆者の主張の要点やその根拠を正しく読み取るとともに適切に要約できるかを問うもので構成されている。

### 評価ポイント

問一 一般的な評論等で用いられる範囲の難易度の漢字について、書き取り・読み取りが正確にできていること。

問二 問題文全体の文脈と各段落の文意を正しく把握し、各文をつなぐ語を適切に選択できていること。

問三 問題文全体の文脈と前後の文の構造を理解し、適切な語の組み合わせを推論できていること。

問四 問題文全体の文脈を理解し、抜き出された文の元の位置を適切に判断できていること。

問五 問題文中における筆者の主張の肝要な部分を読み取るとともに、複数の論拠に基づきながら適切に要約できていること。

問六 傍線部の意味を理解するとともにその内容を的確に示している箇所を把握し、該当部を適切に抜き出せていること。

問七 問題文の内容全体を理解し、その正誤を正確に判断できていること。

## 問題二

### 出題意図

古文に頻出する古語や定型的表現を理解しているか、高等学校で学習する古典文法や古典についての知識を一定以上習得しているかを問う。また、これらを用いて、古文の文章、意味・内容(文脈・状況設定や登場人物の考え・心情など)を正確に把握できているかどうかをみる。さらに、日本古典文学史について基礎的な知識を持っているかを確認する。

### 評価ポイント

問一 古文でよく見られる古語を正しく読み、書くことができていること。

問二 古文の語彙・文法や定型的表現を知っていて、あるいは本文の文脈から推測して、該当の語句を正しく選び書くことができていること。

問三 古文の語彙・文法や定型的表現を知っていて、あるいは本文の文脈から推測して、該当の語句を正しく選び書くことができていること。

問四 文学史上の知識や本文の内容から状況を理解し、語句を正しく書くことができていること。

問五 本文の文脈から、人物関係を理解し、正しく抜き書きができていること。

### 問六

(1) 文学史上の知識や本文の内容から状況を理解し、人物名を正しく書くことができていること。

(2) 基礎的な古文の語彙を知っていて、かつ、本文の文脈に照らして正しく理解し、説明できていること。

問七 本文の内容と該当箇所の古語・古典文法を理解できていること。正しい現代日本語に訳すことができていること。

問八 基礎的な古語や古典文法を知っていること。本文の比喩とその内容を把握し、理解できていること。正しい現代日本語で説明できていること。

### 問題三

#### 出題意図

本問は、中世に起源を持つ決闘裁判が神判として位置付けられている理由、神判の中の決闘裁判の特殊性、そして決闘裁判と現代裁判制度との対比を、論理的に把握できているかどうかを問うものである。その際には、「当事者」およびその「自力救済」について理解することが不可欠となる。いずれも本文中で説明されており、これらの点を見落とすことなく丁寧に読み解くことが求められる。やや見慣れない文章ではあるが、本文は平易な文体であり、論旨も簡潔でわかりやすく、高等学校卒業程度の基本的国語力があれば十分に理解可能である。

#### 評価ポイント

問一 一般的な評論等で用いられる範囲の難易度の漢字について、書き取り・読み取りが正確にできていること。

問二 問題文全体の文脈を理解し、設問中のヒントを参考にしながら適切な語句を本文から抜き出せていること。

問三 問題文全体の文脈を理解し、傍線部の意味を多角的に把握できていること。

問四 該当部分の前後の文脈を論理的に正しく読み解けていること。

問五 傍線部における語句の意義を理解できているとともに、字数制限に合わせて論理的に理解し表現できていること。

問六 問題文の内容全体を理解し、その正誤を正確に判断できていること。

問七 問題文の内容全体を理解し、設問中の語句の意義を理解したうえで、字数制限に合わせて表現できていること。

#### 問題四

#### 出題意図

本文は、国の経済政策について国王と官吏の間で交わされた議論を題材としたものである。そこには視野の狭い官吏と国の経済を見据えた国王の意見が、簡潔かつ平明な文章で説かれている。議論には曲折があるものの、高等学校で学習した漢語・漢文の能力を用いて十分に理解できる内容である。問題では漢語や漢文の理解度、漢文法の習熟度を確認するとともに、内容に即して議論の意図を正しく読み解けているかを問うた。

#### 評価ポイント

問一 指示された漢字を文脈に合わせて正確に読めていること。

問二 議論の流れを理解し、正しい語を答えられていること。

問三 本文の内容を踏まえ、漢文の句形を理解し、該当箇所にも正しく返り点を付けられていること。

問四 本文の内容を理解した上で、漢文の語法にしたがい、該当箇所を正しく読み下せていること。

問五 本文に即して議論の意図を正しく読み解き、制限された字数内での確かつ簡潔に解答できていること。

問六 本文全体を正しく理解し、該当箇所を正しい日本語に訳せていること。